

・・・ネパールに思いを馳せて・・・

陽だまり“はり・きゅう”治療室 中野朋儀

28年8月11日～21日



トリブバン国際空港（カトマンズ）

羽田→バンコク（7時間）トランスファー5時間→カトマンズ4時間→ルンビニ30分



カトマンズ国内線でバイワラ空港へ
30分の飛行です。



左は綿の耳栓で、
右は飴が機内で
配られました。



機内の様子。
30人乗りで狭いです。



ネパール連邦民主共和国 Federal Democratic Republic of Nepal



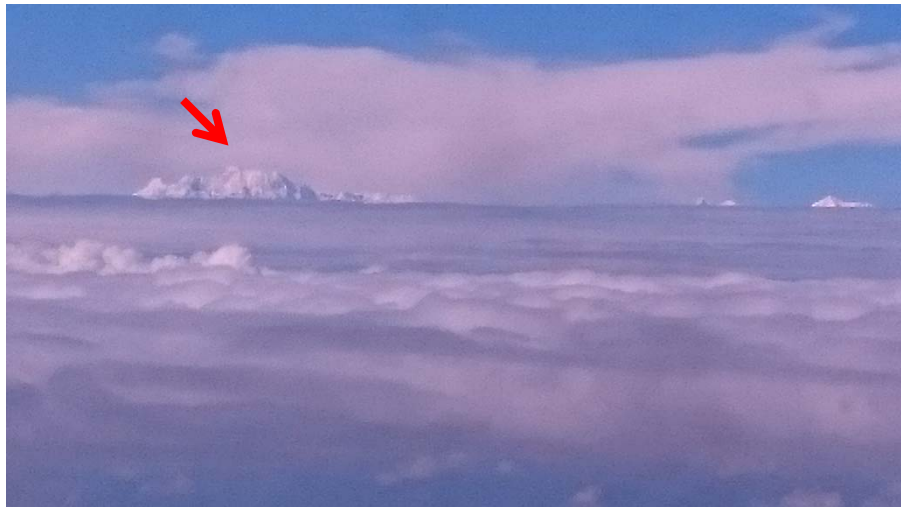
ネパールでもカトマンズは標高1300mほどですが、インドに近い南の地域（ルンビニなど）は標高が200mほどです。6月から9月までのモンスーン（雨期）では、インドのベンガル湾からの湿気を含んだ季節風が入り込みます。



国内線の滑走路です。



上空からカトマンズの町です。



カトマンズからバイワラへの途中
アンナプルナ(8091m)が見えました。
赤矢印です。雲に見間違えそうですが。。。



上空からバイワラの町です。



バイワラ空港です。



ルンビニの町並みです。



活動ベースになるホテルです。
コテージ風でなかなか素敵です。





公立学校で1年生から15年生までいます。校舎前に自転車が並んでいます。



教室です。



何年生の子供達でしょうか？4～5年生でしょうか。



学校裏の景色です。



学校前のお店です。
子ども達が寄り道して
いくのでしょうか。



学校までホテルからバスで15分ほどでしょうか。



受付の順番を待つ人の列は、校舎の外から校門まで数十メートル続いています。朝7:00到着時には既に、これだけ並んでいました。





静かな心で、無心に鍼を打ちます。

会場は、公立学校の講堂で入り口には人々が溢れてます。会場には、もちろん冷房も扇風機も電気也没有せん。
気温35℃、湿度70%です。
活動は朝7時から11時ぐらいまでです。日中は42℃ほどになりますので午後は活動できません。





とにかく、暑いです。すぐに顔から汗が滝のように流れます。からだから水分が無くなっていくのを感じ、からだにまとわりつく湿気を含んだ空気がからだの動きを止めていきました。

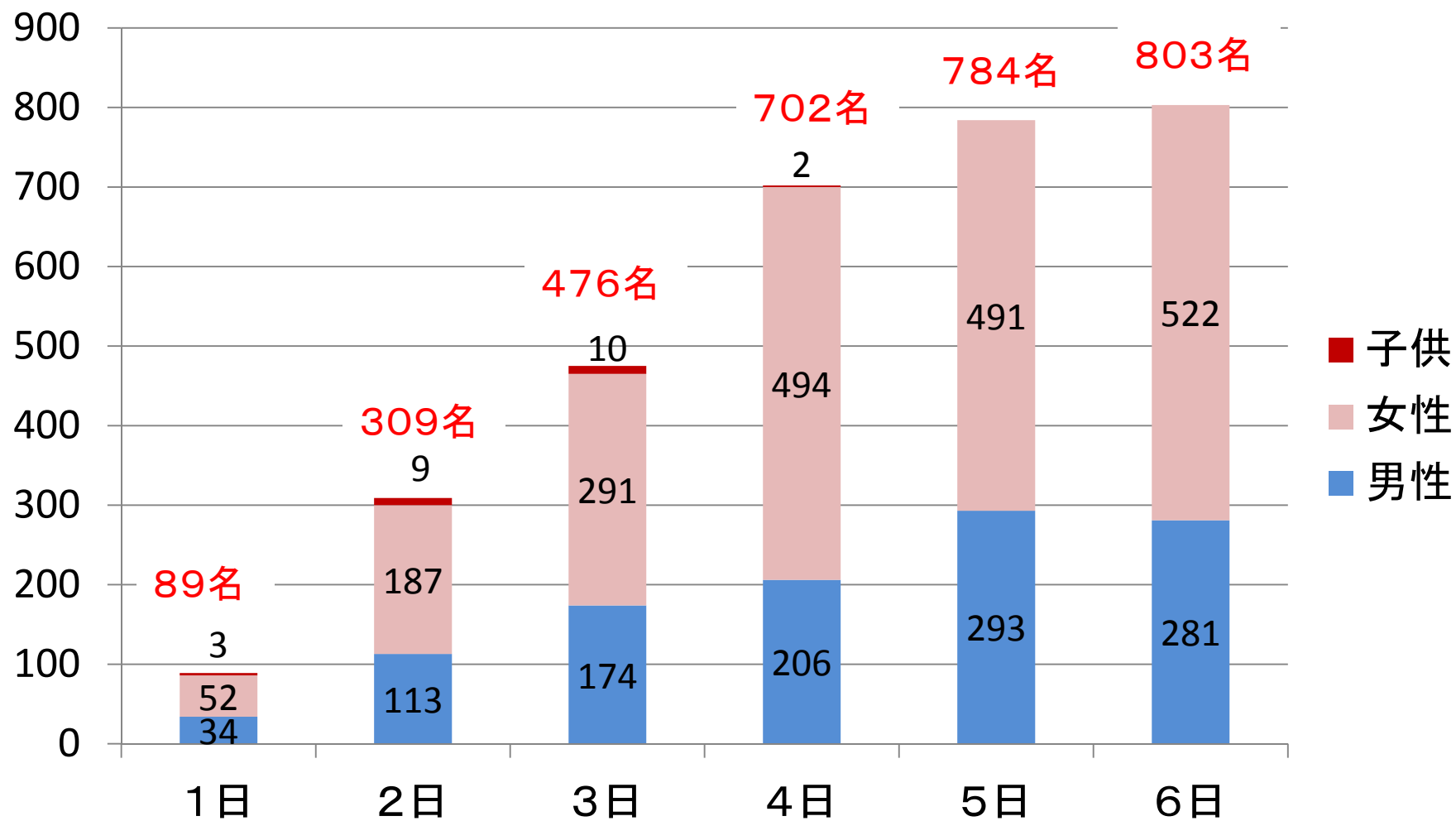




この学校の上級生と看護学校の学生がボランティアで手伝ってくれています。彼らのひた向きの精神に負けないように。一緒に汗を流し、治療を続けられたことはこの上ない喜びです。

ヘルスキャンプinネパール・ルンビニ

2016年8月12日(金)～8月18日(木)

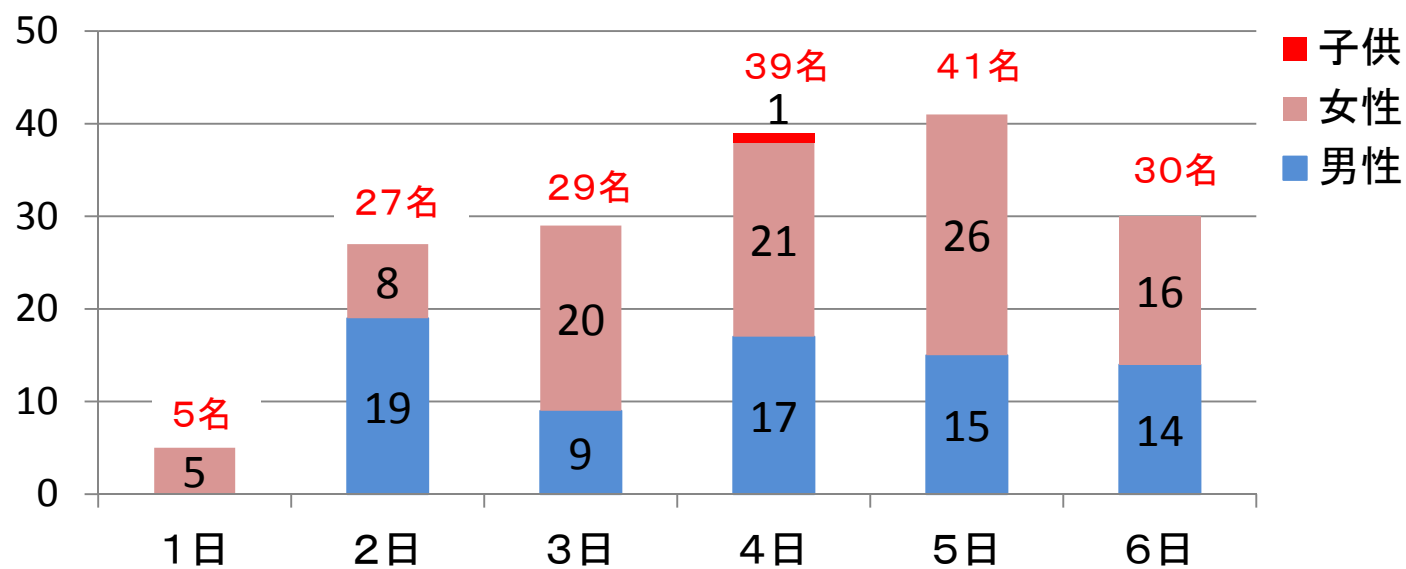


患者数累計: 3, 162名

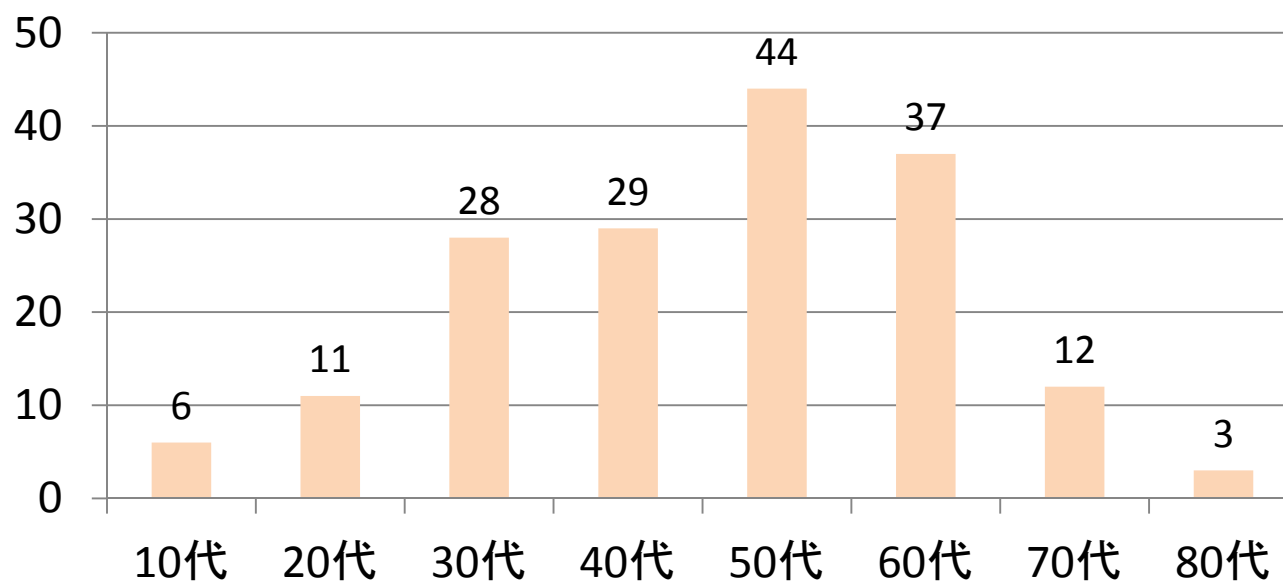
患者総数・累計

	新患				再診					
	男性	女性	子供	計	男性	女性	子供	計	合計	累計
1日	34	52	3	89	0	0	0	0	89	89
2日	80	145	9	234	33	42	0	75	309	398
3日	72	128	10	210	102	163	0	265	475	873
4日	63	169	0	232	143	325	2	470	702	1575
5日	67	114	0	181	226	377	0	603	784	2359
6日					281	522	0	803	803	3162

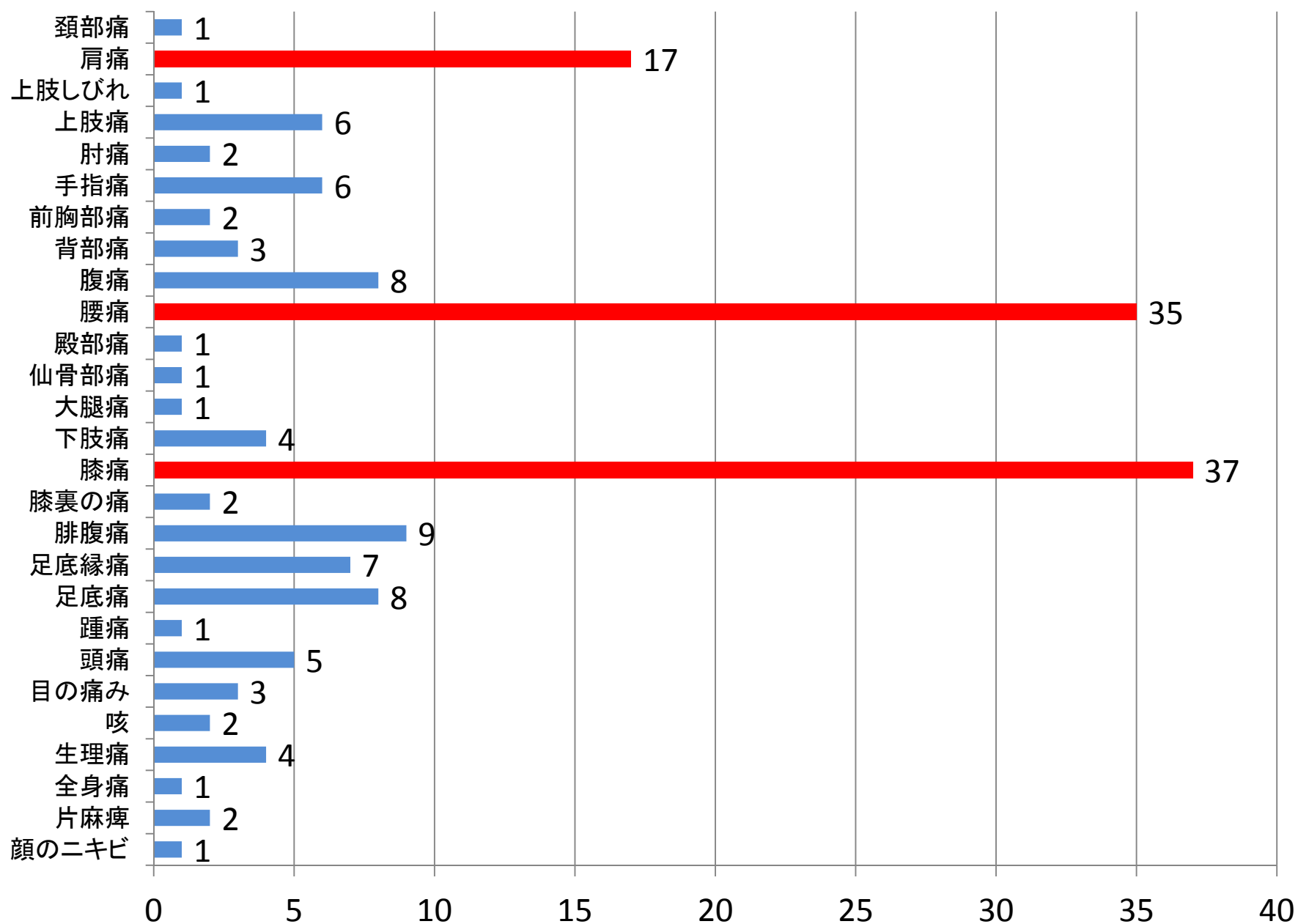
個人担当患者数 累計:171名



患者年齢分布 累計:171名



主訴内訳



個人担当患者印象記

- ・肩の痛みは、日本で言う50肩ではないかと考えられます。
痙縮期？痛みのために肩を上げることが出来ないようで他動では腕が上がります。
- ・日本のような肩こりは、みられずどちらかというと頸部のつけ根の痛みを訴えていました。
- ・足底縁痛（足背と足底の肌目に沿う痛み）、踵の痛み、足底の痛みなどがみられました。
- ・膝の痛みは、日本と同じように膝内側部にみられました。
- ・膝の痛みの患者が集計上多いのは、座って治療できる為に治療を優先的にしたためです。全体の患者の主訴の集計がでていませので膝の痛みが多かったかはわかりません。
- ・上肢、下肢のしびれは、ネパール語でザムザムと表現され皮膚感覚の異常かと思われました。

PRESCRIPTIN PAPER

Name of Patient: Laxman Aryal S. 871
 Address: 111-5 Date: 16 Aug
 Tel No.: 130/90 Sex: M Age: 51
 B. P.: 130/90 Weight: kg Height:
 Chief Complain: Back Bone pain X years. Pulse: Respiration: Temp:
 Complain:
 Past History:
 Family History:
 Personal History:
 Gynecology History:
 Provisional Diagnosis:
 Final Diagnosis:
 Investigation:
 Previous treatment/surgery:
 Acu:
 Moxa:
 Other treatment:
 Assistant: Performed by:
 (Name & Signature) (Name & Signature)

受付でボランティアが患者さん
 へ問診し症状をカルテに記入し
 ます。患者さんはカルテを持って
 鍼灸治療を受けに来ます。
 初診の患者さんは、症状により
 2～3回の治療を受けます。
 その為、治療患者数は延べ人数
 になります。



国境の街スノウリ



ルンビニから国境まで26Kmです。



ここが国境です。

ネパール人とインド人は自由に国境を行き来できます。他の外国人はインド入国にはビザが必須です。





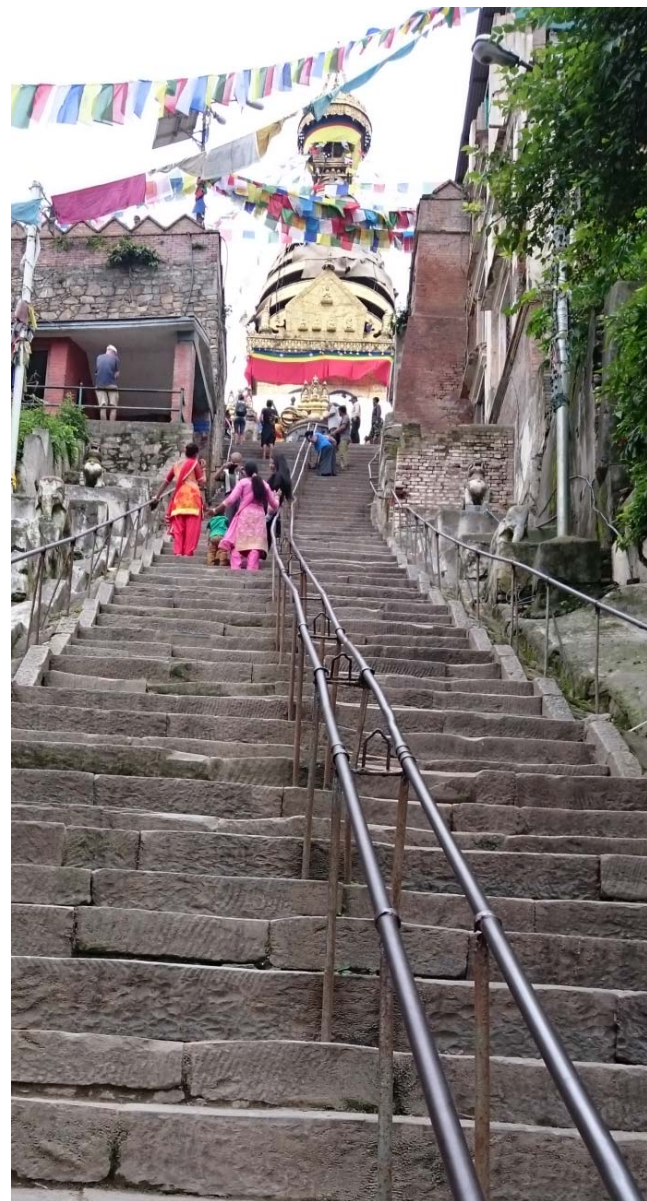
カトマンズ滞在のホテルです。



カトマンズ市内の風景です。



スワヤンブナート寺院入口です。



階段を昇っていきませんが、
段々と急な坂になります。



カトマンズの街並みです。



スワヤンブナート寺院
(カトマンズ市内)
世界遺産です。



乗り合いワゴンバスです。座席が埋まわらなければ出発しません。
定員は後ろに10人分助手席に2人分ですが、少しのスペースに人が乗ってきます。
最終的には18人にもなりました。



露天売り場でしょうか？



ダルバール広場（カトマンズ）
世界遺産です。



チベット寺院です。



チベット自治区の中です。人々は、チベット民族衣装を身につけていますのでここに入ると雰囲気が一変しました。





チベット難民キャンプ



絨毯を織り販売してセンターの
運営資金にしているようです。





カトマンズにある火葬場の1つです。
この川は、インドのガンジス川に繋がっています。
写真左、川岸で火葬して川に全て流します。
聖なる川に流れ着くようにだそうです。



洗濯？をしているようです。



ネパールに思いを残し帰国です。

バンコク国際空港内